

ヒートアイランド対策大綱

(平成16年3月30日ヒートアイランド対策関係府省連絡会議決定)

抜粋

第3 基本方針

ヒートアイランド現象は、人工排熱、地表面被覆、都市構造や地形・気象条件など多岐にわたる要因により形成され、ある要因が別の要因に影響を及ぼすなどメカニズムが複雑である。ヒートアイランド対策の更なる推進のため、因果関係の解明や現象のメカニズム、さらにはその影響の評価に関する調査研究を一層推進する。また、業務系街区・住宅系街区といった地区の特性、昼間・夜間といった時間的条件などにより、現象が異なってくるとの指摘もあることから、より効果的な対策を進めていくため、各種条件下における対策の効果について調査研究を進める。

さらには、**様々な対策の効果を総合的に評価する手法について検討を行う**。なお、これらの調査結果については総合的かつ効果的なヒートアイランド対策の実施のために広く公表を行う。

第5 観測・監視体制の強化及び調査研究の推進

3. 計画的な施策展開のための調査研究

総合的な対策推進のため、地理情報を活用して都市空間の熱環境に関するデータを分析して熱環境を地図化する手法の改良を進める。また、数値シミュレーションモデル等により対策を総合的に評価する手法の改良や地域特性を考慮して対策の目標水準を設定する手法の開発に努める。

資料編

- ・各省施策の取りまとめ
- －観測・監視体制の強化及び調査研究の推進

| 施策名 | 担当府省庁 |
|--|----------------------------|
| ・地球環境総合推進計画 | 文部科学省 |
| ・多面的機能維持増進調査 | 農林水産省 |
| ・健全な水循環系の構築に関する調査 | 農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省などと共同 |
| ・ヒートアイランド解析システムを用いた調査研究 ・宅地利用動向調査(細密数値情報) ・国土環境モニタリング ・ 都市空間の熱環境評価・対策技術の開発 ・大都市河川・沿岸域における水温モニタリング ・ヒートアイランド対策効果の定量化に関する研究 ・建築物に係るヒートアイランド対策推進手法の検討(ガイドラインの作成等) ・CASBEE(建築物総合環境性能評価システム)の開発及び普及の推進 ・民間建築物等における緑化推進を図るための調査研究 ・都市排熱処理システムに関する調査検討 ・路面温度を低下させる等の可能性のある舗装に関する調査研究 ・雪氷冷熱エネルギー活用社会構築調査 | 国土交通省 |
| ・ヒートアイランド対策に関する調査 ・環境技術実証モデル事業 | 環境省 |